

Q22

辺野古・大浦湾の5,300種以上の生物のうち、約1,300種は分類されていない生物であり、その多くは新種の可能性があるというのは本当ですか。

A

本当です。約1,300種のうち、種が同定されると多くは新種の可能性があります。

平成18年(2006年)からの10年間で、エビやカニ、ハゼなどの新種計26種が相次いで発見されていることが平成28年(2016年)6月に報道され、同年7月には、100年以上ぶりにダルマスナギンチャク属の新種が発見されたことが報道されており、貴重な生物の存在が次々と明らかになっています。埋立工事の施工範囲は、臨時制限区域となっており調査ができませんが、まだ発見されていない生物が生息している可能性も十分にあります。

国はそれらを学術的に調査することもなく、またそれらを保護する一切の措置を施すことなく工事を行っています。

膨大な新種生物群が絶滅する危機に瀕し、貴重な生物資源が地球上から永遠に失われようとしているのです。



マヅリモク



アオサンゴ



■施設全体イメージ (写真:国土地理院)



琉球新報(平成28年6月19日掲載)